

さざなみ

須崎市教育研究所 発行
第3号 令和7年7月9日

学校訪問

毎年、市内全ての小・中学校を訪問して全ての学級の授業を参観し、学校の管理職・研究主任と協議をしています。今年度は主に教育長・教育委員4名・教育次長・学校教育課長・指導主事2名・研究所所長・研究教諭・須崎市学校事務支援室2名、MIF推進コーディネーター3名の計16名で伺っています。目的は、各学校の教育計画や取組等に関する情報を知り、それについて教育委員会として対応や支援ができること等について話し合うことです。

子どもたちは明るく意欲的に授業に臨んでいました。また、昨年度よりもさらに多くの学級でICT機器の活用が浸透しているように感じました。教師—児童(生徒)間のタブレットでのやり取りから児童(生徒)—児童(生徒)間のタブレットでのやりとりが多く、多くの場面で見られるようになってきました。個人としてではなく、学校としてタブレットの活用を進めてきた成果ではないかと思います。

また、今年度は多くの学校が複線型の授業を実践されていました。課題に対して「個人で」取り組む児童生徒、「ペア・グループで」協力して一緒に取り組む児童生徒、それぞれがやりやすい学習スタイルで取り組んでいる姿勢が印象的でした。またそのような学習がスムーズに行えるような教室の環境づくり(教室にマットを敷き、机を置き、上履きを脱いで一緒に学習ができるなど)をされている学校も見受けられました。



生成AI「ELSA」授業支援

6月から市内中学校の英語の授業で「ELSA」の活用が始まっています。使用開始の支援を各学校でさせていただきました。今回はELSAを使ってどのようなことができるかをご紹介します。



①英単語や、短文の発音の正確性を評価（0～100%で）する。



ELSAでは、英単語の発音の正確性を即時評価してくれます。私自信が得意とする発音は高い評価が出ましたが、苦手としている発音（ここではthの発音）は最初は57%の評価でした。何度かお手本の音声を聞いて再挑戦すると、スコアも上がり正確に発音ができるようになってきました。ELSAの評価は比較的、厳しめなので初めて挑戦した中学生が50%台の評価をされてショックを受けていましたが、中学生であれば50～60%を取れたら十分だと思いました。（中には100%の評価をもらって大喜びの生徒もいました！）授業支援に行かせていただいた際、生徒たちがより正しい英語の発音ができるように何度もチャレンジしている姿が印象的でした。

②学習した単語について、AIが自動で問題を作成し、単語学習用として使う。

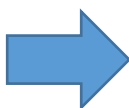


音声を聞いてアルファベットを並び替えて
英単語を完成させる練習



日本語⇒正しい英語を選択する

③教科書の本文や、練習したい英文を音読練習でき、結果を評価してくれる。



本文や少し長い物語を読んで、その音読力を発音・イントネーション・流暢性の3観点から評価をすることもできます。音読をした音声をもとに、発音の正確性を以下の3色で示します。

👉 赤（正確に読めていない）、黄（少し正確性に欠ける）、青（正確に発音できている）

また、自分が実際にどのように読んでいるかはあとから聞き直すことができるので、ふりかえりがとてもしやすいです。自分がどのように英語を話しているかをふりかえることは発音向上において非常に大切なことです。それが即座に確認できることは非常に便利だと思いました。

④生成AIと実際に会話ができ、結果を評価してくれる。

会話をする前に、会話相手の情報（名前・出身・今回会話したい内容）を示してくれます。会話の中で意識して使用してほしい表現（ここではDo you～? Are you～? Can you～?）を確認し、実際に会話を始めます。ここではDo you have a sister? から会話が始まっています。



会話をしている中で、あまり興味がないトピックであったり、それよりも話したい話題があるときは遠慮なく話題を変えてかまいません。ここでは兄弟についての話題を膨らませられなかったもので、Anyway, when you are free, what do you do?（ところで、暇なときは何する?）と話題を変えました。そうすると、When I am free, I like to draw and read books. I also go outside to play with friends. How about you?（暇なときは絵を描いたり、本を読んだりします。友人と外出したりもします。あなたはどう?）と答えてくれました。新しい話題にもきちんと応答してくれます。



最後に会話の評価を、スピーキング・語彙・文法の観点から評価をし、会話の中でよかったこと、またさらに会話がスムーズになるために必要な表現をアドバイスしてくれます。生徒が初めてAIと会話をする際、相手が何を言っているのか分からず黙ってしまうかもしれません。その時に教師側から会話を続けるときに便利な表現（聞き返す、ゆっくり言ってとお願いする、効果的なリアクション、話題を変える

ときの表現等）を提示してあげると、今よりも会話が長く続くのではないかと考えました。ここに提示した方法以外にも生徒の話すことの力が向上する活用方法を今後も模索していきたいと思います。各学校の皆様、ELSAIに関してご要望等あればいつでもご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

